

自己紹介

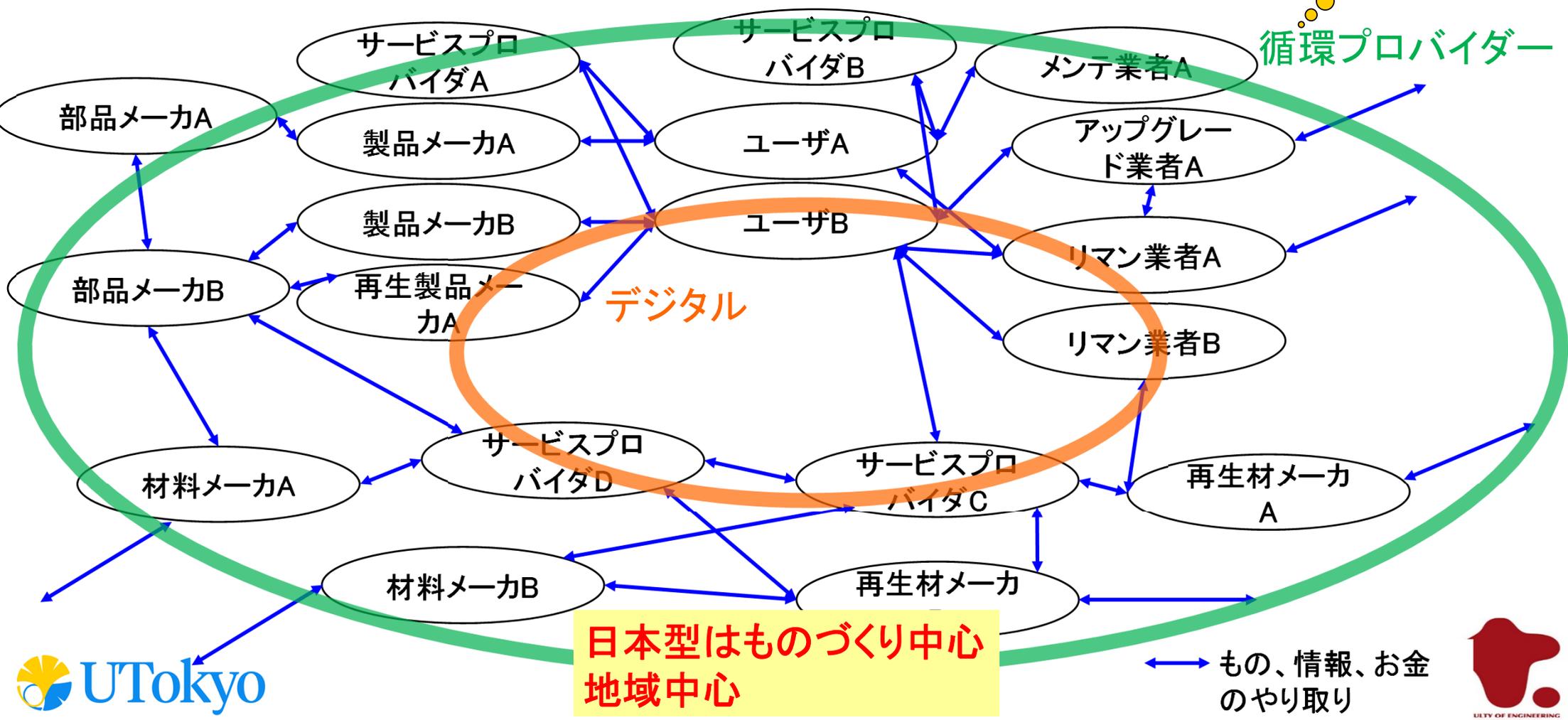
- 東京大学大学院工学系研究科
人工物工学研究センター
教授 梅田 靖
- 専門: CE、製品ライフサイクル設計、スマートマニュファクチャリング
- 主な役職: 東大三菱電機CE社会連携講座教授(兼任)、日立産総研CEラボ客員研究員、経産省産構審資源循環経済小委員会委員長、CPsガバニングボード委員、...
- 主な著書: サーキュラーエコノミー～循環経済がビジネスを変える(勁草書房)



photograph: Masahiro Miki

価値共創エコシステム

見える化、デザイン、運営
のオーケストレーション



循環プロバイダー

- 循環を適切に構築しビジネスとして成立させることが重要
→ 大量生産・廃棄から脱却した価値づくりビジネス
 - もの、情報、お金が循環する仕組みを作る
 - だれがモノを作るかだけでなく、誰が回すかも重要
 - **ものを作る人と仕組みを作る人の役割分担が必要なのではないか？**
- 「適切な」循環は、あらかじめ設計し、適切にマネジメントしないと実現できない
 - **ライフサイクルの見える化、設計、分析、マネジメントの統合的实施**
- 材料メーカーでも、最終製品メーカー単独でも、リサイクラー単独でも循環プロバイダーになれそうにない。適切なアライアンスが必要
 - 様々な専門家集団の巻き込み
 - 循環を企画し、ビジネス化し、運営のオーケストレーションをする

これら2点を実行するのが「循環プロバイダー」



誰が循環プロバイダーか？

- 今年、**J4CE**(循環経済パートナーシップ)の注目事例に認定されたものも、企業間連携
- J4CEには掲載されていないが

CO₂回収
◆ボイラーからCO₂を回収



竹本油脂(株)
日本特殊陶業(株)

流通・貯蔵

◆ドラム缶2缶(10kg)/週輸送



中部共栄運輸(株)

CO₂供給

◆みかんの育成、評価



愛知県農業総合試験場
日本特殊陶業(株)

全体支援



蒲郡市、(株)新東通信

◆CO₂吸収量の分析、
生産性向上



豊橋技術科学大学

社会的価値

◆市民への価値検証



[<https://prt看es.jp/main/html/rd/p/000000058.000103090.html>]

“Circular”「循環」という言葉に 引きずられ過ぎてはいけない

- 大目標: 持続可能な社会の実現
- 中目標: プラネタリー・バウンダリーの範囲内での経済活動を実現するアブソリューション・デカップリング
- 実現手段
 - 資源面: CE
 - 温暖化: カーボン・ニュートラル
 - 自然資本: ネーチャー・ポジティブ
- CEの方策
 - デカップリングに貢献する手段は、何でも有効
 - その1つの表れが、「有効な」リサイクル
 - » そのため、リサイクルをやればCE、ではない
 - 恐らく、脱大量生産・大量販売ビジネスがブルーオーシャン。EUはそのブルーオーシャンを人為的に作り出そうとしている

だとすると

- 大量生産・大量販売マインドからの脱却
 - もの売り → 価値売り
 - 単純に脱物質化、第三次産業化ではない
 - ユーザの価値、経験(UX)を第一優先
 - 物質的な循環ではなく、価値の循環
 - その価値を高める手段: 技術、品質、サービス、ソリューション
- これを↑売り物にできるか？
- 業態: CEコマース(by METI)